

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公表番号】特表2016-533436(P2016-533436A)

【公表日】平成28年10月27日(2016.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2016-061

【出願番号】特願2016-519753(P2016-519753)

【国際特許分類】

D 0 1 F 8/12 (2006.01)

D 0 4 H 3/14 (2012.01)

D 0 4 H 3/005 (2012.01)

A 6 1 L 15/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 8/12 Z

D 0 4 H 3/14

D 0 4 H 3/005

A 6 1 L 15/12 1 0 0

A 6 1 K 9/70 4 0 1

A 6 1 K 9/70 4 0 5

A 6 1 K 9/70

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月22日(2017.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 1】

【表3】

表3 試験結果

実施例	直立M V T R (g/m <sup>2</sup> /24時間)	倒立M V T R (g/m <sup>2</sup> /24時間)	バリア性能 (分)
1	7992	19413	>42
2	8141	21350	>42
3	1888	漏れた	0
4	8025	18849	>42
5	8640	23624	12.5
6	8307	18231	>42
7	8540	19681	>42
8	8581	18657	14
9	8448	18883	1
10	8115	26255	2
11	8307	27855	10
12	8107	26358	>42
比較例			
1	サンプルが裂けた	サンプルが裂けた	サンプルが裂けた
2	8756	27505	0
3	8347	33278	4.1

本発明の実施態様の一部を以下の項目 [1] - [30] に記載する。

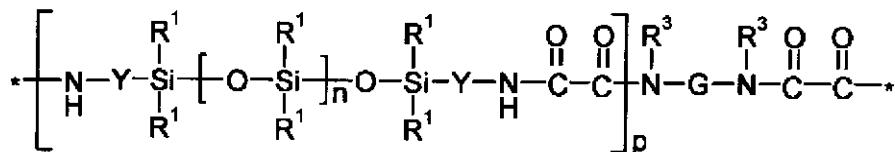
[項目1]

コアと外層とを含む多成分纖維であって、前記外層の少なくとも一部分が、ポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む第1の溶融加工可能な組成物を含み、前記コアが、ポリジオルガノシロキサンポリマーを含まない第2の溶融加工可能な組成物を含み、前記多成分纖維が、5~25重量%のポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む、多成分纖維。

[項目2]

前記ポリジオルガノシロキサンポリオキサミドコポリマーが、次式I:

【化1】



I

(式中、

各R<sup>1</sup>は、独立して、アルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、アリール、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリールであり、前記R<sup>1</sup>基の少なくとも50パーセントはメチルであり、

各Yは、独立して、アルキレン、アラルキレン、又はこれらの組み合わせであり、

Gは、式R<sup>3</sup>HN-G-NHR<sup>3</sup>のジアミンから2つの-NHR<sup>3</sup>基を除いたものに相当する二価残基であり、

R<sup>3</sup> は、水素若しくはアルキルであるか、又は R<sup>3</sup> は、両方結合される G 及び窒素と共に複素環式基を形成し、

n は、独立して、40 ~ 1500 の整数であり、

p は、1 ~ 10 の整数であり；

アスタリスク (\*) は、繰り返し単位がコポリマーの別の基に結合する部位を示す) の少なくとも 2 つの繰り返し単位を含む、項目 1 に記載の多成分繊維。

[ 項目 3 ]

各 R<sup>1</sup> がメチルであり、R<sup>3</sup> が水素である、項目 2 に記載の多成分繊維。

[ 項目 4 ]

前記ポリジオルガノシロキサンポリオキサミドコポリマーが、p が 1 に等しい第 1 の繰り返し単位と、p が少なくとも 2 である第 2 の繰り返し単位とを有する、項目 2 又は 3 に記載の多成分繊維。

[ 項目 5 ]

G が、アルキレン、ヘテロアルキレン、アリーレン、アラルキレン、ポリジオルガノシロキサン、又はこれらの組み合わせである、項目 2 ~ 4 のいずれか一項に記載の多成分繊維。

[ 項目 6 ]

Y が、アルキレンである、項目 2 ~ 5 のいずれか一項に記載の多成分繊維。

[ 項目 7 ]

n が、50 ~ 300 の整数である、項目 2 ~ 6 のいずれか一項に記載の多成分繊維。

[ 項目 8 ]

前記第 1 の溶融加工可能な組成物が、感圧接着剤ではない、項目 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の多成分繊維。

[ 項目 9 ]

前記第 2 の溶融加工可能な組成物が、ポリオレフィンポリマー、ポリオレフィンエラストマー、ポリウレタンエラストマー、又はこれらの混合物から選択される、項目 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の多成分繊維。

[ 項目 10 ]

前記第 2 の溶融加工可能な組成物が、ポリオレフィンであり、前記多成分繊維が、75 重量 % ~ 95 重量 % のポリオレフィンを含む、項目 9 に記載の多成分繊維。

[ 項目 11 ]

前記ポリオレフィンが、ポリプロピレンホモポリマー又はコポリマーである、項目 10 に記載の多成分繊維。

[ 項目 12 ]

前記第 2 の溶融加工可能な組成物が、ポリオレフィンポリマーのブレンドである、項目 9 に記載の多成分繊維。

[ 項目 13 ]

前記ポリオレフィンエラストマーが、5 ~ 65 重量 % の範囲の量で前記ブレンド中に存在する、項目 12 に記載の多成分繊維。

[ 項目 14 ]

項目 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の多成分繊維を含む、不織布ウェブ。

[ 項目 15 ]

前記不織布ウェブが、少なくとも 0.10、又は 0.20、又は 0.30 mm の厚さを有する、項目 14 に記載の不織布ウェブ。

[ 項目 16 ]

前記多成分繊維が、約 5 ~ 50 マイクロメートルの範囲の平均繊維径を有する、項目 14 又は 15 に記載の不織布ウェブ。

[ 項目 17 ]

前記多成分繊維が、15 マイクロメートル以下の平均繊維径を有する、項目 16 に記載の不織布ウェブ。

## [項目18]

前記不織布ウェブが、25～200g/m<sup>2</sup>の範囲の坪量を有する、項目14～17のいずれか一項に記載の不織布ウェブ。

## [項目19]

前記不織布ウェブが、少なくとも1000、3000、又は5000g/m<sup>2</sup>/24hの直立MVT Rを有する、項目14～18のいずれか一項に記載の不織布ウェブ。

## [項目20]

前記不織布ウェブが、少なくとも10,000g/m<sup>2</sup>/24hの倒立MVT Rを有する、項目14～19のいずれか一項に記載の不織布ウェブ。

## [項目21]

前記不織布ウェブが、EN20811に従って、少なくとも5分間又は10分間の透水耐性を有する、項目14～20のいずれか一項に記載の不織布ウェブ。

## [項目22]

前記不織布ウェブが、抗菌剤を更に含む、項目14～21のいずれか一項に記載の不織布ウェブ。

## [項目23]

少なくとも10,000g/m<sup>2</sup>/24hの倒立MVT R、及びEN20811に従つて20mbar(2kPa)の水圧に対して少なくとも10分間の透水耐性を有する、不織布ウェブ。

## [項目24]

前記不織布ウェブが、項目1～13のいずれか一項に記載の多成分纖維を含む、項目23に記載の不織布ウェブ。

## [項目25]

裏地を含む医療用物品であつて、前記裏地が、項目14～24のいずれか一項に記載の不織布ウェブを含む、医療用物品。

## [項目26]

前記医療用物品が、テープ、創傷包帯、及び切開用ドレープからなる群から選択される、項目25に記載の医療用物品。

## [項目27]

前記不織布裏地の主表面上に配置される皮膚接触材料を更に含む、項目25又は26に記載の医療用物品。

## [項目28]

前記皮膚接触材料が、接着剤、吸収剤、又はこれらの組み合わせである、項目27に記載の医療用物品。

## [項目29]

前記吸収剤が、親水コロイド、ポリマーゲル、又は発泡体である、項目28に記載の医療用物品。

## [項目30]

多成分マイクロ纖維を作製する方法であつて

ポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む第1の溶融加工可能な組成物を準備する工程と、

ポリジオルガノシロキサンポリマーを含まない第2の溶融加工可能な組成物を準備する工程と、

前記第1及び前記第2の溶融加工可能な組成物をメルトブローして、コア及び外層を含む多成分纖維を形成する工程と、を含み、前記外層の少なくとも一部分が、前記第1の溶融加工可能な組成物を含み、前記コアが、前記第2の溶融加工可能な組成物を含み、前記多成分纖維が、5～25重量%のポリジオルガノシロキサンポリアミドを含む、方法。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コアと外層とを含む多成分纖維であって、前記外層の少なくとも一部分が、ポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む第1の溶融加工可能な組成物を含み、前記コアが、ポリジオルガノシロキサンポリマーを含まない第2の溶融加工可能な組成物を含み、前記多成分纖維が、5～25重量%のポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含み、前記第1の溶融加工可能な組成物が、感圧接着剤ではない、多成分纖維。

【請求項2】

前記第2の溶融加工可能な組成物が、ポリオレフィンポリマー、ポリオレフィンエラストマー、ポリウレタンエラストマー、又はこれらの混合物から選択される、請求項1に記載の多成分纖維。

【請求項3】

前記第2の溶融加工可能な組成物が、ポリオレフィンであり、前記多成分纖維が、75重量%～95重量%のポリオレフィンを含む、請求項2に記載の多成分纖維。

【請求項4】

前記ポリオレフィンが、ポリプロピレンホモポリマー又はコポリマーである、請求項3に記載の多成分纖維。

【請求項5】

前記第2の溶融加工可能な組成物が、ポリオレフィンポリマーのブレンドである、請求項2に記載の多成分纖維。

【請求項6】

前記ポリオレフィンエラストマーが、5～65重量%の範囲の量で前記ブレンド中に存在する、請求項5に記載の多成分纖維。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項に記載の多成分纖維を含む、不織布ウェブ。

【請求項8】

少なくとも10,000g/m<sup>2</sup>/24hの倒立MVT R、及びEN20811に従つて20mbarの水圧に対して少なくとも10分間の透水耐性を有し、

前記外層の少なくとも一部分が、ポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む第1の溶融加工可能な組成物を含み、前記コアが、ポリジオルガノシロキサンポリマーを含まない第2の溶融加工可能な組成物を含み、前記多成分纖維が、5～25重量%のポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む、不織布ウェブ。

【請求項9】

前記不織布ウェブが、請求項1～6のいずれか一項に記載の多成分纖維を含む、請求項8に記載の不織布ウェブ。

【請求項10】

裏地を含む医療用物品であって、前記裏地が、請求項7～9のいずれか一項に記載の不織布ウェブを含む、医療用物品。